

ホームヘルプサービス事業

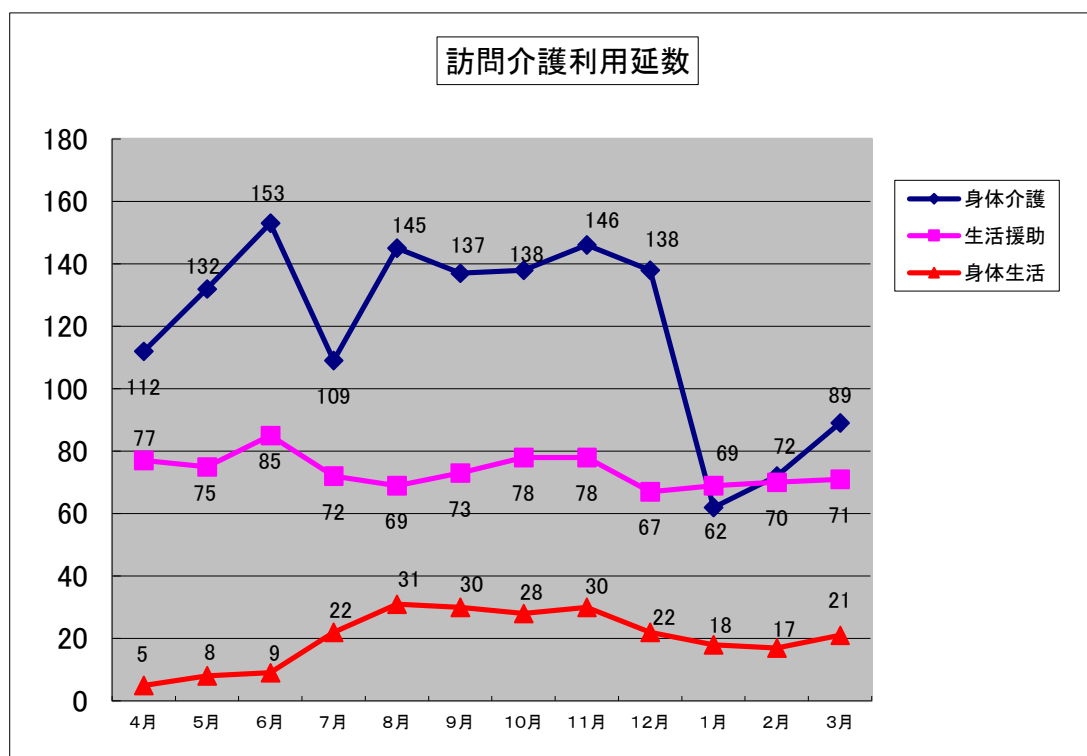
介護保険法に基づき、65歳以上の方で、要支援1以上のご利用者に対して、家事援助及び身体介護・複合サービスを行う事により、自立した生活ができるよう援助させていただきます。

(1) 事業開始年月日
平成12年1月1日

(2) 営業時間等
午前8時30分～午後6時

(3) 令和2年度月別利用状況

	利用者実数	利用者延数			利用延時間
		身体介護	生活援助	身体生活	
4月	15	112	77	5	148:45
5月	16	132	75	8	162:15
6月	18	153	85	9	209:00
7月	16	109	72	22	173:15
8月	17	145	69	31	204:15
9月	17	137	73	30	199:45
10月	18	138	78	28	199:45
11月	20	146	78	30	209:45
12月	19	138	67	22	182:30
1月	18	62	69	18	133:30
2月	18	72	70	17	139:45
3月	17	89	71	21	161:00
合計	209	1,433	884	241	2,125:30



(4) 年間目標・評価

令和2年度 ホームヘルパー年間目標

- 1 ご利用者様の潜在能力を活かした自立支援をすすめ、安心して暮らせる援助を行う
 - 他職種との連携を図り、ご利用者様の変化や気づきを共有する
 - 認知症状に応じた柔軟なケアが行える
 - 職員の気づき・観察力の向上を図る
- 2地域の同サービス事業所や他職種との連携を深める
 - 宇陀けあネットを活用し、関係機関との情報共有をすすめる
- 3働きやすい職場環境づくり
 - 職員全員がどのサービス内容でも対応できるよう連携の強化を図る
 - 面談によるメンタルヘルスを実施する

【年間目標に対する評価】

ご利用者様の生活をよく観察し、認知症状の変化やADL等の気づきをヘルパー間で共有し、他職種と連携してきた。立ち上がり動作が不安定なケースには手すりの設置や、移動時に転倒リスクがあるご利用者様には、歩行器の使用を勧めることで動作が安全に行え、転倒の不安解消を図ることができた。また、デイサービスをご利用のご利用者様については、入浴時に着替えの持参がないことで汚れや尿臭のする下着を着用して帰ることがあるとの報告で、清潔保持の理解を得て、ヘルパーのサービス時に着替えの準備を行い、毎回デイサービス利用時に持参し、着替えて頂くことで清潔保持出来ている。

また、自立支援の観点からご利用者様の出来る事は見守るようにし、過剰介護にならないようヘルパー間でも情報を共有し、ヘルパー全員がどのサービス内容でも対応できるよう図らってきたが、中にはつい過剰になる事もあった。その際にはサービス責任者から訪問介護計画書の援助方針や目標を再確認するなど注意を行った。

地域との交流として市内の同サービス事業所のヘルパー研修会などの企画もあったが、新型コロナウイルスの感染予防にて研修会も行えず、交流を図ることが出来なかった。

宇陀けあネットの活用もあまり出来ていなかった。情報を共有するツールとして積極的に活用していき、関係機関と意見交換できるようにしていきたい。

働きやすい職場環境としては、ヘルパーが急な休暇を取っても他のヘルパーがどのサービスにも対応出来るようにすることで、安心して休暇がとれる体制を取れている。

また、ヘルパーそれぞれの業務に対しての思いや生活において、不安に思うことはその都度面談の上、相談し合い解消できるように対応できた。

今後も、ご利用者様の暮らしに寄り添い、その人らしく暮らせる援助を心掛け、他職種との連携を保ち、地域貢献していきたい。

令和3年度 ホームヘルパー年間目標

- 1 自立支援を基本に援助をすすめ、ご利用者様の心地よい暮らしを支える
 - ご利用者様の視点に合わせ、潜在能力を活かしたサービスを意識する
 - 快適な生活が送れるケアを心掛け、気づきは他職種と情報共有する
 - 認知症状に応じた柔軟なケアを行う
- 2地域の同サービス事業所や他職種との連携を深める
 - 宇陀けあネットを活用し、他職種との情報共有を図る
- 3働きやすい職場環境づくり
 - ヘルパー間で気づいたことはお互いに注意し合い改善する
 - 面談によるメンタルヘルスの実施